

市政記者各位

令和 6年 10月 24日
市民局人権部人権啓発センター

12月4日～10日は「福岡市人権尊重週間」です

福岡市人権尊重行事推進委員会では、人権が真に尊重され、差別のない住みよい福岡市の実現に向けて、昭和47年から福岡市人権尊重週間（12月4日～10日）に各種行事を実施しています。本年度もその取組みとして「福岡市人権を尊重する市民の集い」と「人権尊重作品の入選作品の展示」を実施いたします。

第53回福岡市人権を尊重する市民の集い

入場無料

12月5日の東市民センターと福岡市科学館での講演のみ、事前申込が必要です。

申込期間：11月1日(金)から11月29日(金)

(※講演会の詳細については、市ホームページをご覧ください。)



講師：スマイリーキクチ さん（タレント）、伊藤 比呂美 さん（詩人）等
一部の講演で録画配信あり（12月15日までの事前申込制）

時間：午後2時から午後3時40分

会場：各区市民センター等

主催：福岡市人権尊重行事推進委員会

人権尊重作品の入選作品の展示

期間：11月30日(土)から12月7日(土)午後5時まで

会場：福岡市役所1階多目的スペース

展示予定数：ポスター・絵画 30点
標語 28点



令和6年度ポスター・絵画代表作品

見て見ぬふりはもうしない 勇気をもって「私」から

令和6年度標語代表作品

令和6年度福岡市人権尊重週間 第53回福岡市人権を尊重する市民の集い

福岡市人権尊重行事推進委員会では、人権が真に尊重され、差別のない住みよい福岡市の実現に向けて、昭和47年から福岡市人権尊重週間(12月4日～10日)に各種行事を実施しています。本年度もその取組の一つとして「福岡市人権を尊重する市民の集い」を下記のとおり各区で実施いたします。

開催時間:午後2時から午後3時40分

12/5(木)の2講演は要申込(先着)、その他の講演は事前申込不要で当日先着です。

詳細はホームページをご確認ください(右側の二次元コードよりご覧いただけます)。



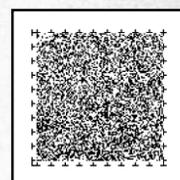
開催日	演題・講師	定員
12/4 (水)	 言葉の責任 ネットの被害者・加害者にならないために ～命の大切さ、人生の大切さ、あきらめない心～ スマイリーキクチ さん(タレント)	500人
12/5 (木)	 LGBTQ+講演会2024 ～今私たち一人ひとりにできること～ 堀川 歩 さん(株式会社アカルク代表取締役)	要申込 録画配信有 500人
12/5 (木)	  「こうのとりのゆりかご」から始まる第2の人生 宮津 航一 さん(ふるさと元気子ども食堂 代表) 宮津 美光 さん(宮津ファミリーホーム 管理者)	要申込 270人
12/6 (金)	 ライブ人生相談 万事OK! ～日々の悩みから人権を考えていきましょう～ 伊藤 比呂美 さん(詩人)	800人
12/7 (土)	 ニュースが伝えない差別の現場 藪本 雅子 さん(フリーアナウンサー)	500人
12/9 (月)	 認知症とともに生きる 丹野 智文 さん(おれんじドア実行委員会 代表)	録画配信有 500人
12/10 (火)	 部落問題と向き合う私たち ～結婚差別を乗り越えて～ 石井 眞澄 さん、石井 千晶 さん	録画配信有 800人

手話通訳・要約筆記を実施します。

会場へは、公共交通機関をご利用ください。

録画配信視聴希望の方は、12月15日(日)までにホームページ内の申込フォームよりお申し込みください。

講師プロフィール、会場、お問合せ先は裏面をご覧ください。



Uni-Voice

講師プロフィール	会場・お問合せ先
<p>12月4日(水) スマイリーキクチさん</p> <p>1972年生まれ。毒舌漫談スタイルのピン芸人としてテレビ・ラジオなどで活躍中。1999年、身に覚えのない事件の殺人犯だとインターネット上に書き込まれ、言われなき誹謗・中傷を受け続ける。2011年に著書「突然、僕は殺人犯にされた」- ネット中傷被害を受けた10年間-が話題に。2019年には(一社)インターネット・ヒューマンライツ協会を設立、代表を務める。現在は、芸人として活動しながら、自身の体験をもとにネット犯罪の恐怖やその対策などについて各地で講演活動中。</p>	<p>中央市民センター 中央区赤坂2丁目5番8号</p> <p>中央区生涯学習推進課 TEL 718-1067 FAX 714-2141</p>
<p>12月5日(木) 堀川 歩さん</p> <p>1990年生まれ。出生時の性別は女性として生まれるも、現在は戸籍上も男性となる。高校卒業後に地雷撤去を行うため陸上自衛隊に入隊し、任期満了後は自分の目で世界の現状を確かめる為に世界一周の旅に出発。帰国後は LGBTQ+の方の総合サポート事業を個人で立ち上げ、2020年に株式会社アカルクを設立。多様な人が働きやすい職場環境作りを専門に行い、年間100本以上の研修や講演を行い、他社のアドバイザーなども務める。</p>	<p>東市民センター 東区千早4丁目21番45号</p> <p>東区生涯学習推進課 TEL 645-1144 FAX 645-1042</p>
<p>12月5日(木) 宮津 航一さん、宮津 美光さん</p> <p>(航一さん)2003年生まれ。2007年に熊本市慈恵病院の「このとりのゆりかご」に3歳で預けられる(開設初日第1号)。同年、里親の宮津美光・みどり夫妻のもとへ委託。2022年このとりのゆりかごに預けられた生い立ちを公表。 (美光さん)日本ファミリーホーム協議会九州ブロック理事などを務める。2007年に妻とともに里親登録を行い、2011年には熊本県内で最初に「ファミリーホーム」を開設し、これまでに30人以上の里子を支援。</p>	<p>福岡市科学館* 中央区六本松4丁目2番1号</p> <p>城南区生涯学習推進課 TEL 833-4043 FAX 822-2142</p>
<p>12月6日(金) 伊藤 比呂美さん</p> <p>1955年東京都生まれ。性と身体性をテーマに過激な言葉づかいと独特なリズムの詩で現代詩を揺さぶり続けるかたわら、自らの体験を綴った育児エッセイが世の母親たちの共感を呼ぶ。近年では語りを基盤に、古典や仏教への興味を打ち出し、『とげ抜き新巢鴨地蔵縁起』で萩原朔太郎賞、紫式部文学賞をダブル受賞。古典やお経の現代語訳も手掛ける。2018年春、カリフォルニア生活を引上げて熊本に帰り、早稲田大学文化構想学部教授を3年間務める。</p>	<p>西市民センター 西区内浜1丁目4番39号</p> <p>西区生涯学習推進課 TEL 895-7026 FAX 882-2137</p>
<p>12月7日(土) 藪本 雅子さん</p> <p>1991年早稲田大学卒業後、日本テレビのアナウンサーとなる。バラエティ番組やキャスターを経て、報道局へ。2001年、結婚を機にフリーとなる。ハンセン病をテーマにした『女子アナ失格』(新潮社)出版以降、人権や差別をテーマに全国の自治体、寺社、学校などで講演活動等をおこなっている。人権教育啓発推進センター発行の「アイユ」インタビュアーとして、人権課題に取り組むトップランナー100人以上を取材。</p>	<p>博多市民センター 博多区山王1丁目13番10号</p> <p>博多区生涯学習推進課 TEL 419-1025 FAX 419-1029</p>
<p>12月9日(月) 丹野 智文さん</p> <p>ネットヨタ仙台で働いていた2013年39歳の時にアルツハイマー型認知症と診断される。営業から事務職に異動し、勤務を続け、現在は認知症への社会的理解を広める活動が仕事になっている。2015年より認知症の当事者のための物忘れ総合相談窓口おれんじドアを開設、自らの経験を語る活動に力を入れている。著書に「丹野智文笑顔で生きる」(文藝春秋)、「認知症の私から見える社会」(講談社)など。</p>	<p>早良市民センター 早良区百道2丁目2番1号</p> <p>早良区生涯学習推進課 TEL 833-4401 FAX 851-2680</p>
<p>12月10日(火) 石井 眞澄さん、石井 千晶さん</p> <p>部落で育った妻・千晶さんと、親に部落出身者と付き合うことを反対された夫・眞澄さん。現在は、お互いの家族の理解を得て、幸せな夫婦生活を送っているが、幾多の困難を乗り越えてきた。その後、二人は自身の部落差別にまつわる経験を若い世代を中心に、さまざまな人たちに伝えたいと中学校や高校、その他各地で講演活動をしている。差別に対して逃げることなく、明るく前向きに立ち向かう姿勢に心打たれる。</p>	<p>南市民センター 南区塩原2丁目8番2号</p> <p>南区生涯学習推進課 TEL 559-5172 FAX 562-3824</p>

* 城南市民センターホールは改修工事のため、城南区開催分は福岡市科学館サイエンスホールで行います。